

「社員の積極的な IT 研修に応える」

佐賀県武雄市に在る弊社（タケックス株式会社（社長：瀧川実氏））は、従業員数約 90 名の、映像、通信、音響機器の製造を行う新進気鋭の企業です。とりわけ、現代社会の死角を無くすための防犯カメラ、コントローラ等の需要は拡大の一途をたどっています。



武雄市にある本社

弊社は、TOA 株式会社のグループ企業ですが、関連会社以外からの受注にも柔軟に対応できる柔軟性のある開発・生産体制が強みです。

今回、ポリテクセンター佐賀より IT 活用力セミナーの紹介を受けたところ、個々の社員のスキルアップを進めることが弊社の創造的な商品開発と販売力につながるとして、弊社生産管理課の井本課長の



井本 生産管理課長

「従来、当社は表計算のテクニックにしても、個人のスキルに頼ってきたところがあるのですが、これからは社員全体の表計算スキルを部署ごとにレベルを揃えていく必要があります、それが当社の生産性に直結する！」との思いが受講のきっかけとなりました。

受講希望者を募ると半数を超える女性社員

を中心に業務に支障が発生するほどの積極的な参加の声が挙がってきました。研修の担当部署としては、希望者約 30 名の社員の業務シフト表を作成することになり、希望者を大まかな習得度を目安にレベル毎に 2 班に分け、ほぼ全員を 4 日間の受講時間帯に分けて効率の良い受講形態を計画しました。

受講コースは「表計算ソフトの業務活用」で、訓練時間 12 時間の 2 コースです。カリキュラムは、会社内で必要とされる各種関数やシート処理のパターンについて事前に講師の方にお話しして最終テキストが完成されました。



屋外ドームカメラ一体型レコーダー

受講者からは、「自己流で扱っていた手法が遅いと感じた」、「入力操作等を簡略化できることを知り、業務のスピードアップにつながる」、「生産データの分析等、作業効率がアップする」などの意見を数多くいただき、今後は、マクロ利用や生産管理での統計手法の勉強にも挑戦したい等の声も上がりました。

また、習得度毎に班構成をした研修にも、研修成果と充実度に好結果をもたらしたとの分析もいただきました。

会社全体での IT 活用力のレベル調整や向上は、今後の現場レベルでの業務の効率化につながることを期待できると感じています。

今後のステップとしては、今回のセミナーを実施して、挑戦したい内容を具体的に受講生にヒアリングしたところ、当 IT 活用力セミナー「ピボットテーブルを活用したデータ分析」や「表計算ソフトのマクロによる提携業務の自動化」等の受講希望があり、実施を検討中です。